

B—52 酸素系漂白剤・塩素系粉末漂白剤のおむつ  
洗剤利用について(第1報)

—尿による有効塩素・酸素消費と洗白効  
力持続性—

福岡女大家政 平松 園江  
ニシキゴム(株) ○小田原安子  
合谷美智子

1. おむつ洗たくは尿便と細菌が十分除去され、柔かさ吸水性が保持される事が望まれる。それでおむつ洗剤とその用い方の研究を企画した。現在は次亜塩素酸ソーダを主成分とする物が主であるが、粉末の塩素系と酸素系の漂白剤を利用することについて検討する事とし、まず使用濃度液の安定度と尿、布を入れた時の有効塩素・酸素の消費状態と漂白効果を調べ次亜塩素酸ソーダと比較し、併せて尿付着の際の予洗効果を調べる。

2. 殺菌漂白剤は、次亜塩素酸ソーダ、二塩化イソシアヌル酸ソーダ、過硫酸水素カリ+食塩+炭酸ソーダ+トリポリリン酸ソーダ、過硼酸ソーダ、過炭酸ソーダと市販おむつ洗剤3種と市販酸素系漂白剤4種とした。布は反射率  $65 \pm 2\%$  の未晒天竺煮沸布、尿は pH 6.4 (7人分混)、布浸漬条件は浴比 1:30、液温  $30 \pm 2^\circ\text{C}$  で 0.5、1~24時間迄長時間浸漬の漂白効果を白色度変化でみた。有効塩素酸素の消費状態は液中の有効酸素・塩素を過マンガン酸カリ滴定法と沃素法により測定した。反射率は東京電色製光電光度計によった。

3. 塩素系の物は使用濃度溶液は安定で次亜塩素酸ソーダが最も安定である。酸素系のものは布なしでも消費される。漂白効果は市販洗剤の配合率程度の含有では次亜塩素酸ソーダにまさる物はない。尿による有効塩素消費は大で予洗は必要で効果がある。酸素系では過炭酸ソーダの漂白効果が優れており、浴比が大であれば長時間徐々に白くなる。